

日本分析化学会近畿支部 提案公募型事業(セミナー)のご案内

「3次元蛍光 X 線分析に関する研究会」

開催予定日： 10月19日(木) 10時から13時

開催場所： 大阪市立大学・学術情報総合センター、研究者交流室(10階)

大阪市立大学(杉本町キャンパス)へのアクセス：<http://www.osaka-cu.ac.jp/information/access.html>

主催： 大阪市立大学大学院工学研究科

共催： 日本分析化学会近畿支部

事業内容： Los Alamos National Laboratory の Havrilla 博士とベルギーアントワープ大学の Janssens 先生の来日に合わせて、微小部蛍光 X 線分析に関するセミナーを計画する。蛍光 X 線分析の研究においては、微小部分析から、2次元分析、3次元分析への研究動向が変化しつつある。この状況を踏まえ、この分野の応用、発展性、および、問題点について議論したい。なお、午前中の講演会終了後、懇親会を兼ねた昼食会を予定している。

講演

10:00 - 10:45 Prof. Koen Janssens (University of Antwerp, Belgium),

"Confocal micro-XRF and micro-XAS, at the synchrotron and in the laboratory".

10:45 - 11:30 Dr. George J. Havrilla (Los Alamos National Laboratory, USA),

"Confocal micro X-ray fluorescence 3D elemental imaging for materials characterization"

11:30 - 12:15 中野和彦、堤本薫、松田晃典、米原翼、川又誠也、辻幸一 (大阪市立大学),

「微小部蛍光 X 線分析の現状と問題点」

講演会後： 懇親会を兼ねた昼食会(学術情報総合センター1階：ウェステリア)

午後： 微小部蛍光 X 線分析に関する検討会(装置見学なども含む)

参加費： 無料

\*参加予定者は事前にご連絡いただくと助かります。

連絡問い合わせ先： 辻 幸一(大阪市立大学大学院工学研究科)

電話：06-6605-3080、[tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp](mailto:tsuji@a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp)